

—孔祥熙和平交渉ヲ語ル—

同盟來電—不發表

ニューヨーク十七日發

A。F漢口來電によれば行政院長孔祥熙は日支和平交渉説に關しA・F漢口特派員に左の如く語つた

「日支和平交渉説が既に流布されて居るが全く根も葉もない噂で明かに日本及びドイツの宣傳だ。日支間には現在どんな交渉も行はれてゐない日本側の條件はてんで問題にならぬものだから交渉の餘地があらう筈はない又内容も極めて伸縮性に富んだ曖昧なもので。とても具体的な交渉の基礎とはなり得ない更に重要なことは之によつて永久的な平和を招來するものではない又日本軍部によつて牛耳られるやうな平和は絶対にあり得ない和平への一途は必ず兩國の外交機關を通じて眞に平等の基礎に立つて始められるべきで。一方的基礎に立てた武力によつて強制するべきではない。吾々は何も征服された民族ではない、必要とあれば何年でも戦争を繼續することが出来る。日本軍の占領した地域は決して日本の財産ではない。何まざれも無く日本の負債だ。何となれば占領地を保持する爲めに日本は更に多くの血と財産を犠牲とせねばならぬからだ」

英紙の帝國政府聲明評

—同盟來電—不發表

ロンドン十六日發

「タイムズ紙は十六日の紙上に於て日本政府の對支重大聲明に付き左の如く論じてゐる
「日本政府の對支の内容は蔣介石 一派を困窮せせたとはいふに過ぎない。日本政府の
蔣介石政権否認は全く意味がなく、現実的な支那人は日本政府の公式默殺のチエスチア
を冷然と見送るだらう。否、支那側は聲明の含意から更に勇氣づけられるかも知れない。
聲明の實際的意義は非公式に進めて居た和平交渉を公式に打切つたといふ點に限られる。
この交渉は支那側が日本政府の苛酷な和平條件を断然はねつけた時既に瓦解したものだ。又
假令現在和平交渉を續行しても仲介者なしに進行する以外何の效果もあるまい。然し日
本政府今次の聲明は調停の途を全く鎖してしまふものではない。然し假令調停を形式に
否認しても、支那側が和平交渉に應ずる用意を示せば事情は全く別になるからたゞた
ゞ今回の聲明により和平の氣運が從來に比し遙かに遠退いたことは否定出来ない。日本
が表面強硬に出れば支那の對抗意識を愈々硬化させることになるのは明らかだが聲明に